

大阪から公害をなくす会 臨時ニュース

## 第24回環境学校 ニュース NO.1

大阪から公害をなくす会

〒540-0026 大阪市中央区内本町2-1-19

内本町松屋ビル10 370号

TEL 06-6949-8120/FAX 06-6949-8121

発行責任 事務局長 久志本俊弘

# 第24回 大阪から公害をなくす会「環境学校」 「必ずくる震災で、日本を 大阪を終わらせないために」

日時 2019年8月24(土) 13:30~16:30 (13:00開場)

場所 鶴見区民センター小ホール (詳細はチラシ参照)

講師 福和伸夫先生 (名古屋大学減災連携研究センター教授・センター長)

(中央防災会議の主査として「南海トラフの想定震源域で異常が観測された場合の対応について」の報告書の取りまとめ)を行なわれました)

みなさんは、南海トラフ地震について、知っているつもりでも、まだまだ、知らされていないことが、たくさんあるのではないのでしょうか？先生は「ホンネ」で話すことが大事だと行動しています。

## みなさんは、でも、まだ自分は大丈夫 と思っていませんか？

先生の最近の著作から一部紹介します

### ■著作1 (2017年11月発行)「次の震災について本当のことを話してみよう」

(まえがき) 次の「南海トラフ地震は、いつかくるかもしれない」のではなく、「必ず来る」のです。

東京も大阪も軟弱な地盤の低地に都市を広げて、・・・そこに林立する超高層ビルの安全性は十分に検証されていません。国民の半数が被災者になる可能性もあります。



れば、乗り越えられます。

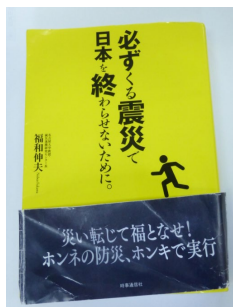
■世界の危険度ランク スイスの保険会社公表の自然災害危険度、ワーストワンは東京・横浜、この大阪・神戸は4位！(著作1のp46)  
巨大地震の被害は「見たくないもの」です。「見たくないものに目をつぶっている人たちに、「本書にはたくさんびっくりすることが盛り込んであります。」

■死者32万人は、直接死のみ。関連死を入れると、100万になる恐れも！(著作1のp22)  
最近の東日本大震災などで明らかになったように、震災後の厳しい生活環境の中で亡くなる人が直接死よりも多いことがあります。南海トラフ地震は、これまでの地震の延長上で考えてはいけません。

### ■著作2 (2019年3月発行)

#### 「必ずくる震災で日本を終わらせないために」

- ・必ず起きる南海トラフ地震。死者想定は32万人
- ・損害額1410兆円は土木学会が発表した数字です。それは、日本を「終わり」にしてしまうかもしれない。
- ・でも、ちゃんと身構え備え



■南海トラフ地震で発生する「震災ごみ」は、3.2億トン。日本の7年分。(著作1のp140)  
巨大地震は、最大の環境問題でもあります。瓦礫の処分が遅れると、衛生面や安全面のリスクも高まります。(編集者注：アスベスト問題もあります。)

(編集後記) 災害への対応・対策では、自助・共助・公助のバランスが大事です。政府は公助をできるだけ減らそうとしています。いっぱいありますが、次号以後にも記載します。